【Center for Innovative Therapy Solutions (CITS) について】

過去の AMPS 受講者の皆様へ、CITS から AMPS に関するメールが届いている件についてご案内いたします。 過去に講習会を開催していた CIOTS（Center for Innovative Occupational Therapy Solution）と、現在の CITS は全く異なる組織であり、両者に提携等の関係は一切ございません。そのため、CIOTS Japan では CITS の活動内容や運営方針について詳細を把握しておらず、CITS に関するお問い合わせには今後もお答えいたしかねますことをご了承ください。

【CIOTS が閉鎖した経緯と CITS について】

CIOTS は、Dr. Anne Fisher をはじめとする作業療法士たちが中心となって立ち上げた組織であり、長年にわたり講習会の開催や関連テキストの出版、ソフトウェアの開発などを担ってまいりました。 その後、Dr. Abbey Marterella へ代表を引き継ぎ事業を運営しておりましたが、同氏の急逝に伴う諸事情、および関連する権利の移行等の理由により、CIOTS は閉鎖に至りました。

現在、AMPS 等に関する版権は CITS が保有しており、同組織によって関連事業が運営されております。前述の通り、過去の CIOTS 関係者は現在の CITS の運営には関与しておりません。

【Quality of Occupational Performance (作業の質：QOP) について】

「Quality of Occupational Performance (QOP)」は、Dr. Anne Fisher および過去の評価法開発に関わってきた作業療法士たちが、現場のニーズに応える形で新たに開発した、作業遂行分析に基づく客観的評価法です。クライアント中心かつ作業中心のアプローチを実践するために不可欠なツールとして設計されています。 QOP は、これまでの作業遂行分析の知見を活かしつつ、長期の講習会参加の負担やソフトウェアの維持費用といった、現場で課題とされていた点を解消するよう工夫されています。 作業療法士および作業療法学生であれば、公式ホームページから無料でマニュアルとスコアプログラムをダウンロードする

ことが可能です。世界のどの作業療法士でもすぐに始められるよう、講習会に参加しなくても自主学習にて評価を導入できる仕組みとなっています（※約 100 ページのマニュアルとなるため、精読が難しい方には講習会への参加が推奨されています。日本では作業遂行研究会で開催予定）。

現在、公式日本語マニュアルを作成中であり、遅くとも今年度内には QOP のホームページ https://www.powerfulpractice.com/access から日本語版もダウンロード可能となる予定です。

【QOP と AMPS/SchoolAMPS/ESI の違い】

QOP は、ADL、スクールワーク、社会交流の 3 つの評価法の総称です。QOP は AMPS/SchoolAMPS/ESI をベースに開発されていますが、AMPS/SchoolAMPS/ESI とは異なる評価法です。そのため、AMPS 等の認定評価者であっても、「同じ要領だろう」と考えて評価を行うと信頼性の低い結果となるため、著者らもしっかりとマニュアルを読み込み、両者の違いを理解した上で評価を実施するよう注意喚起しています。

評定に直接関わる主な違いの概要は以下の通りです。

- **技能項目名と概念・具体例**：英語の項目名は AMPS/SchoolAMPS/ESI と同じですが、技能項目の概念や具体例の説明が異なります（※公式の日本語項目名は、現在日本語訳されている様々な書籍の項目名と一部異なります）。
- **課題**：課題名が同じであっても、課題の説明内容が異なります。
- **評定**：評定尺度と基準が異なります。

その他、評価の解釈やスコアプログラムなどについても違いがあります。